

新社会党

個人質問 松平 要

子どもたちの「居場所」となる、より良い学校づくりの推進を！

―不登校とフリースクール 活用について―

問 不登校生徒児童の多くは、学校や教室に居心地の悪さを感じている。現在、日本には18万人を超える不登校の子どもがいるとされ

ており、大阪府だけでも1万人を超える子どもたちが学校にいけない。このような不登校は特殊な子どもの特異な事象ではなく、誰の身にも起こりうることであり、その原因の多くは

照隅の会

個人質問 中西 進泰

パラリンピックを活かしたスポーツのまちづくりを、本市も部活動指導員制度を採用せよ！

―パラスポーツとまちづくりについて―

問 コロナ禍で1年延期になった東京オリンピック・パラリンピック2020が開催された。新型コロナウイルス感染症が終息しない

中で、開催の是非について賛否両論があった中で開催された大会だったが、多くの感動を私たちに与えてくれ、数々のドラマが生まれた。本市はスポーツのまちづくりを推進する中で、ウ

自由民主党

代表質問 鳥居善太郎

個人質問 横田 信一

ポストコロナ社会を見据えた戦略を推進せよ!! 通学路の安全確保/危険な場所に強調シートを!

―ポストコロナ社会―

問 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策は当然だが、現在の本市施策の延長線上であれば、新たな予算化の必要なく、ポストコ

ロナに向けた経済構造の転換

へとつなげ、都市間競争にスピード感を持った対応ができるものと考えて、市長の考えは、市長 ポストコロナにおいては、市の最上位計画である東大阪市第三次総合計画

個々の子どもの中にはなく学校・教室にあると言わざるをえない。明日も行きたくなくなる学校づくり、クラスづくりがされているのか教育委員会の見解を伺う。

進めてまいらる。撤去費用削減と駐輪場整備について―

問 本市では放置自転車撤去作業に毎年1億円の予算がかけられている。これは、高規格救急車なら7台、避難所用テント・ベッド各4000基の購入にかかる金額と同じである。また、公用車を毎年30台、電気自動車に乗り換えられたり、太

陽光発電補助金を現行の10倍に増やせるだけの金額である。そうして考えると撤去作業は実に非生産的な予算の使われ方と言わざるをえない。ラックの幅や可動式に切り替えるなどの設置設計の工夫をする事で、年間1億円の非生産的な放置自転車撤去事業を少しずつでも縮小する事を目指すべきだと考えるがどうか。そ

イルチエアスポーツに取り組むことを鮮明にしたが、苦境の中でパラリンピックが開催されたことは、本市にとって追い風になったのではないか。オリンピック・パラリンピック2020をどう総括し、今後のスポーツのまちづくりに活かしていこうと考えているのか。

市長 オリンピック・パラリンピックで高まった機運を生かし、子供から大人まで、そして障害の有無や性別、国籍などにとらわれず、スポーツに親しみ、楽しめるまちづくりを進めてまいりたい。

―中学校の部活動指導員制度について―

問 我が国の教員の長時間労働や、部活動の顧問の半分近くがその競技の未経験者である現状を鑑みて、国

をどう総括し、今後のスポーツのまちづくりに活かしていこうと考えているのか。

中学校、高等学校において、校長の監督を受け、幅広い権限が認められた。本市ではまだ部活動指導員制度を導入するに至っていないが、なぜ採用しないのか、その

は立入禁止、使用できない運用になっている。トライスタジアムは、芝生も天然芝としてラグビーやサッカー競技が行われ、利用者からも大変すばらしいグラウンドであり、利用したいという声も多く寄せられている。なぜ年間を通じて平日の利用ができないのか。利用者の立場に立った運用になっていないのか、理解に苦しみ、ぜひとも開放される

所の把握、抽出を行った上での実効性のある交通安全対策を速やかに講じるよう通知があったと聞き及んでいる。本市ではこれまで通学路の安全対策で、平成26年から27年の2年間で、こ

を強調するためのシートを約20か所の道路に設置した。しかし、ここに来て年数が経過するともに、シートの色が薄くなったり、消えかけているとの声が地域から聞かれる。強調シートについては、車の運転手にとって一目で通学路であることが認知できるもので、安全運転の啓発においては大変有効であることから、補修を早急に行うとともに、

回目接種を終えることができるよう準備をしているが、3回目の接種の必要性について報道されているところである。長期化するコロナ対応の中で、医療体制の維持には医療従事者の確保が重要である。これまで医療従事者から優先接種を行ってきたが、3回目の接種時においても、引き続き優先接種を行っていくべきだと考える。本市の3回目接種